

令和元年9月1日発行

倉吉市議会だより



# 6月定例会

この議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。



## 今号の内容

学生と倉吉の未来を語る！	2
市政に対する一般質問	4
視察報告	9
議案に対する質疑	10
常任委員会・特別委員会	12
議案等の議決結果	14
市民の声・9月定例会・編集後記	16



# くらよし



# づくり

# 未来



# カフェ

in 鳥取看護大学  
鳥取短期大学

# 開催

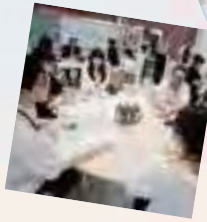
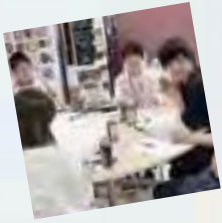
くらよし未来づくりカフェ in 鳥取看護大学・鳥取短期大学(7月6日(土))では、鳥取看護大学・鳥取短期大学の学生が「来たい・住みたいまち倉吉」について市議会議員と意見を交わしました。(関連ページ: 2~3ページ)



# No.10

# を語る！

in 鳥取看護大学  
鳥取短期大学



7月6日に議員が鳥取看護大学・鳥取短期大学におじゃまして、34人の学生と「倉吉市の魅力的なまちづくりに向けて、私が来たい・住みたいまち倉吉」をテーマに、若者の声を議会や政策に反映させることを目指して意見交換を行いました。

当日は、参加した学生と議員が7つのグループに分かれてグループディスカッションを行い、将来を担う学生たちの気持ちを身近に感じました。

● こんな倉吉にしたい！  
理想の倉吉

■ こうしたらどうだろう  
理想の倉吉に近づくために

👤 活気のある  
倉吉

- 📍 まちの保健室の充実・拡大
- 📍 グルメで盛り上げる
- 📍 ボウリング場をつくる

👥 老若男女が  
共生しやすい  
倉吉

- 📍 子どもも高齢者も共に過ごせる遊び場をつくる
- 📍 自然を利用した施設をつくる

👥 若い世代も  
楽しめる倉吉

- 📍 イベントを増やす
- 📍 駅前にかフェをつくる
- 📍 体を動かして遊ぶ場所をつくる

📱 インスタばえ\*  
する倉吉

- 📍 SNSを利用し若者へ「倉吉」を配信する
- 📍 YouTubeを利用した倉吉の配信
- 📍 倉吉のPR動画を作る

\*写真共有のサイト「Instagram」に投稿した写真が見栄えが良いなどという意味



🚗 移動手段に  
困らない倉吉

- 📍 レンタサイクルを増やす
- 📍 シャトルバスやデマンドバスを運行する
- 📍 夕方以降に低運賃で乗れるバスやワゴン車を運行する
- 📍 100円循環バスを運行する

倉吉の嫌いなところ  
(改善してほしいところ)

- ・遊ぶ場所がない
- ・買い物をする場所がない
- ・店舗が閉まる時間が早い
- ・駅周辺以外が寂しい
- ・駅構内が寂しい
- ・活気が少なくなってきた
- ・PRが足りない
- ・街灯が少ない
- ・交通の便が悪い
- ・公共交通の便が少ない
- ・歩道の状況が悪い
- ・歩道も除雪してほしい
- ・運転が荒い
- ・高齢化している

学生の考える

倉吉の好きなところ

- ・自然が豊かで水や食べ物がおいしい
- ・歴史があり、継承している
- ・赤瓦などの観光資源が多い
- ・人情味がある
- ・倉吉を盛り上げようと頑張っている
- ・イベントが多い
- ・飲食店が多い
- ・駅周辺が充実している
- ・県内のアクセスが良い
- ・保育の制度が充実している
- ・病院が多い
- ・犯罪が少なく、安全
- ・暮らしやすい
- ・イメージキャラクターくらすけくんを上手に使っている





# 学生と未来

## くらし未来づくりカフェ



外から見た倉吉の印象を知ることができてよかった

議員が学生の意見を真剣に受け止めてくださったので、もっと伝えたいという気持ちになった。まちの保健室にすごく期待を持っているということだったので、今後の発展のために関わっていきたい

いま倉吉市にあるもの(建物など)を有効活用または再生してほしい

みんなで話して、どうでした?  
参加して  
感じたこと

議員とのグループディスカッションは貴重な機会だった。最初は緊張したが、話していくうちにいろいろな話ができ、楽しかった

倉吉には何でもあると思っていたが、ほかの人から見ると不便なことが多いと知った。倉吉を良くするために、様々な工夫や対策があり、このようにしてまちをよりよくしていくのだとわかり、とても良い経験になった



### 住みたくなる倉吉、行きたくなる倉吉へ

和やかで、学生・議員双方が自由に発言できた貴重な機会だったが、会派くらしの議員(丸田、藤井、大津、大月、福谷)が議会運営に対する不満から参加しなかった点は非常に遺憾なことであり、反省を求めたい。

学生からは、まちのありようについて様々な意見があり、倉吉と深く関わりを持ちながら学生生活を送りたいとの強い思いが感じられた。

こうした機会を次回へと続け、住みたくなる、行きたくなるまちづくりの成果につなげなければと思った。

倉吉市議会 議長 坂井 徹

### 貴重な経験を得た学生たち

このたびは、本学院の学生たちがまちづくりに参画する有意義な機会を与えていただき、ありがとうございます。

学生たちは若者の視点で、のびのびと(ずけずけ)意見を出していましたが、自ら地域に関わるという貴重な経験を得ることができました。また、倉吉市におかれましては、新たな視点から市のあり方を見直すきっかけになったのではと思います。

今後も、地域と共にある学院として、このような機会が訪れることを願っています。

鳥取短期大学 教務部長 岡本 幸夫

ありがとうございました!

もっと住みたい倉吉に!





# 【市政に対する一般質問】

## 【一般質問とは？】

年4回の定例会で行うことができます。議員が、市の事務の執行状況や今後の方針などについての報告や説明を市長や執行機関の長に求め、適切な市政運営が行われているかを質すものです。

倉吉市議会では、基本的に1人あたりの質問時間は、25分です。

会派名	議員名	発言通告要旨
くらよし	藤井 隆弘	子どもたちの安全安心について
		学校再編について
		◎ 防災のまちづくりについて
	大津 昌克	人権尊重社会の実現について
		行政の情報公開と説明責任について
		◎ スポーツ施設の利用料について
	福谷 直美	倉吉の移住定住の実績と課題について
		大規模な太陽光発電事業について
		県立美術館の進捗状況について
		◎ PFIの課題と進捗状況について
	大月 悦子	山陰道北条道路、313号、179号の利活用の取組みについて
		令和6年度開設予定の鳥取県立美術館について
	丸田 克孝	◎ 公園管理・運営について
		行政コストの削減について
	伊藤 正三	◎ 水害防止対策について
常設屋外ステージの設置について		
「令和」にちなんだ梅林公園について		
市営温水プールについて		
福井 康夫	◎ 美術館を活かした芸術のまちづくりについて	
	国有林野管理経営法改正案について	
	児童の安全対策について	
新政会	福井 康夫	◎ 子ども・子育て支援と安全確保対策について
		人材確保対策について
		高速道路ネットワーク整備について
	笠原 晶子	◎ 市役所第2庁舎アスベスト対応について
		高齢化社会における共同作業の未来について
新政会	笠原 晶子	故人の固定資産税について
		山守小学校の活用について
		配慮を要する子どもたちへの支援体制について

会派名	議員名	発言通告要旨	
公明党・グリーン共同	鳥飼 幹男	◎ 公共工事の発注・施工時期の平準化について	
		乳児用液体ミルクの災害備蓄について	
	鳥羽 昌明	高齢者の居場所づくりについて	
		◎ 市道の安全対策と事故防止の取組みについて	
		今夏の大雨時浸水対策について	
	山口 博敬	旧関金町との合併15周年記念事業について	
		知事選、県議選を振り返って	
		◎ 第2庁舎の相談カウンターについて	
		◎ スポーツによる活性化について	
	くらよし創生	佐々木 敬敏	◎ 教育行政について
定住対策と観光振興について			
米田 勝彦		◎ 農業振興について	
		◎ 体育施設の利用料減免について	
		◎ 水害時等における避難の情報及び場所について	
		◎ 公共交通とまちの発展について	
日本共産党		佐藤 博英	◎ 作業所を利用する障がい者の交通費について
			補聴器への補助制度創設について
			◎ 健診受診率向上について
			学童・児童クラブの現状とこれからのについて
	移住定住と子育て支援について		

## 一般質問通告一覧表より

### 【通告とは？】

本会議で発言しようとする議員は、あらかじめ議長に対して質問する項目を明らかにするために、文書で通告を行います。この文書を「質問通告書」と言います。

なお、この通告表は定例会開会日のおおむね2週間前に倉吉市ホームページに掲載しています。

◎印のついた質問は、次頁以降詳細に記載しています。





# 市政の課題を洗い出し、解決策を探る

令和元年6月第3回倉吉市議会定例会が、令和元年6月17日(月)から7月4日(木)まで開催され、一般会計補正予算、請願、陳情などが審議されました。

会議録(質問、答弁など)は、市立図書館でご覧になれます。市議会会議録検索システムは、倉吉市ホームページからご利用できます。



ふじい たかひろ  
藤井 隆弘

## 防災のまちづくりについて

**問** 水害などの災害は年々深刻になっていく。「防災のまちづくり」について市長の考えは

**答** 防災、特に災害への対応は、行政としての一丁目一番地だと考えている。災害は必ず起こるということを前提に対応していかなければならないと



思っている。自助・共助・公助をしっかりと、それぞれの役割を果たすことが大切。そうした体制づくりをきちんと進め、「防災のまちづくり」に努めていきたい。



おおつ まさかず  
大津 昌克

## スポーツ施設の利用料について

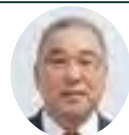
**問** 温水プール利用料の高齢者減免措置が廃止されたが、開設時の趣旨に立ち返り見直すべきでは

**答** 開設時は、高齢者の健康増進を目的として無料で始まったと思う。利用者アンケートは無料で賛成が多かったが、記述欄の「有料でも可」の意見や、

施設維持管理の経費、受益者負担の適正化、指定管理者の収支バランスなど総合的に考慮し、今回見直した。今後とも県内自治体の動きを精査して考えたいが、現状では有料としたい。



## PFIの課題と進捗状況について



ふくたに なおみ  
福谷 直美

**問** 市の財政負担を軽減しながら、PPP・PFI事業を進めていくべきではないか

**答** 国の「公営住宅にかかるPFI・PFI導入事業」に応募しており、事業者であるコンサルを募集している。これが採択されれば、本市へ導入のた

めの支援を始める予定。それを受けて、本市としてもPFI事業の検討をしようと考えている。長坂新町住宅だけでなく、上灘保育園跡地を含めた遊休地の活用について、民間の良いアイデアがあれば市として取り組むことはやさかではないので、提案があれば内容を検討していきたい。

## 公園管理・運営について



おつぎ えつこ  
大月 悦子

**問** 大平山公園の桜の多くが、「ツタ」に絡まれ、無残な状況になっている。無急な対応を

**答** 大平山公園の桜の管理は、現在定期的に剪定はしておらず、必要に応じて対応している。桜にツタが巻き付いていることは以前から把握していたが、



ここまで悪化していることについては承知していなかった。写真を見て改めてひどい状況になっている。今後、樹木医とも相談し、早急に対応していきたい。

## 水害防止対策について



まるた たかつか  
丸田 克孝

**問** カメラの増設状況は

**答** 新しい危機管理型水位計は土手の上からの状況をインターネットやテレビのデータ放送で見ることが出来る。皆さんが自宅周辺の状況を把握し、日ごろの訓練などで危機意識を持って、避難行動につなげてほしい。

**問** 河川の泥上げ、草木などの整備の方法は

**答** 河川の泥や草木などは、要望に応じて国交省や県、土地改良区などの河川管理者と相談し、撤去・整備をしていきたい。身近な場所については、地区のそご\*で対応するなど、役割分担をしながら対応してほしい。

## 美術館を活かした芸術のまちづくりについて



いとう まさみつ  
伊藤 正三

**問** 県立美術館を活かしたまちづくりとして、空き家などを活用した芸術家が集うまちへの取組みを

**答** 美術館建設、運営を担うPFI方式の事業者が未定で、具像が見えず、県の方針も不明瞭ですり合わせがしづらい。プロデューサー的な人材をいか

に確保するか、などの課題について県と連携し、取り組みの可能性をしっかりと勉強したい。

その際には、空き家などの活用を含め、まちづくりにどう効果を及ぼすかも考えていきたい。



\*年に数回、日曜日などに各世帯より1人以上出で地域の仕事(溝掃除や草刈りなど)をすること









公 山口 博敬

## 第2庁舎の相談カウンターについて スポーツによる活性化について

**問** 第2庁舎の窓口相談カウンターに仕切りを

**答** 第2庁舎の窓口仕切りについては、人権にも配慮して、何か所か設置する。また、相談室を各フロアに10室配置する。



**問** スポーツによる活性化対策は

**答** 西郷地区の皆さんには、日本海駅伝、クライミング大会において県外の皆さんへ歓迎の意を表していたき感謝している。県と共にクライミングの聖地化を目指して、大会、オリンピックのキャンプ地などの誘致に取り組む。



創 佐々木 敬敏

## 農業振興について

**問** 円谷堰の現状と、復旧に向けた今後の展望は

**答** 円谷堰は近年の豪雨などにより中州が消滅し、老朽化している右岸側に多くの水が流出し、円谷側での取水が困難となっており、重機で河床を掘り対応している。全面改修については、県と連携して対応する。



**問** 竹林整備に対する市の支援状況について

**答** 竹林整備は待ったなしの状態。県補助金の不足分は、森林環境譲与税を財源とし、6月補正で対応している。



創 よねだ かつひこ 米田 勝彦

## 体育施設の利用料減免について 水害時等における避難の情報及び場所について 公共交通とまちの発展について

**問** 体育施設利用料の減免について

**答** 高齢者の施設利用料については、受益者という立場から、減免を終了し、負担をお願いする。

いた防災情報で、防災情報の意味ととるべき行動を直感的に理解してもらい、主体的な避難につなげるもの。

**問** 水害時の避難情報は的確か

**答** 昨年豪雨を教訓に課題を整理し対応した。警戒レベルを用

**問** 交通政策課を設けては

**答** 現在、企画課で公共交通に取り組んでいる。今後も、今の組織の中で対応可能な体制で取り組んでいきたい。



日 さとう ひろひこ 佐藤 博英

## 作業所を利用する障がい者の交通費について 健診受診率向上について

**問** 作業所通所障がい者に交通費の助成を

**答** 交通費助成ではなく、工賃を増やすために障がい者就労施設からの物品調達を増やそうと思うが、なかなか思うようにいっていない。よく検討していきたい。

**問** 健診受診率向上のため、思い切った努力を

**答** 看護大や協会けんぽとの連携など、いろいろ努力はしているが、なかなか受診率が上がらない。今後、医療機関とも連携しながら栄養指導や自己負担のあり方も含め、よく点検してみたい。







## 会派・個人 視察報告【令和元年5月～7月分】

行政視察の詳しい情報は、倉吉市議会のホームページをご覧ください。

倉吉市議会

検索

期間	5月9日(木)～10日(金)		旅費総額	68,080円
視察先・目的	東京都千代田区	明治大学 アカデミーコモン棟	第11回2019年度日本自治創造学会研究大会 「新時代到来！～地方はどう生き残るか～」	
視察者(会派)	公 鳥羽昌明			1人

期間	5月14日(火)～16日(木)		旅費総額	476,940円
視察先・目的	佐賀県鹿島市	鹿島市役所	酒造を主体としたまちづくりの取り組みについて	
	長崎県諫早市	諫早市役所	こどもの城を主体とした大人と子供の学びの場について	
	佐賀県佐賀市	佐賀市役所	コンテナを街中に据えた活性化事業について	
視察者(会派)	新 福井康夫、伊藤正三、竺原晶子、坂井徹 公 鳥飼幹男、山口博敬			6人

期間	7月8日(月)～10日(水)		旅費総額	462,500円
視察先・目的	宮崎県小林市	小林市役所	てなんど小林プロジェクトについて	
	宮崎県都城市	都城市役所	ふるさと納税の取り組みについて	
	福岡県福岡市	福岡市役所	財政運営プランについて	
視察者(会派)	< 丸田克孝、藤井隆弘、大津昌克、大月悦子、福谷直美			5人

期間	7月17日(水)～19日(金)		旅費総額	278,920円
視察先・目的	北海道愛別町	愛別町役場	・君の椅子について ・ハッピーボーンについて ・デマンドバスについて	
	北海道稚内市	稚内市役所	教育について	
視察者(会派)	創 米田勝彦、佐々木敬敏			2人

倉吉市議会では、地球温暖化防止のための取り組みを行っています。今年も5月1日から10月31日までの間、本会議・委員会などの諸会議において、クールビズを実施していますので、ご理解ご協力をお願いします。

上着・ネクタイの着用は自由です

打吹まつりのポロシャツ・Tシャツは着用できます  
※今年のものに限る

Tシャツ着用時は上着を着用します

ポロシャツ着用時は、議員バッジの着用は自由です

倉吉市議会では **クールビズ** 実施中 実施期間 5/1～10/31





# 【議案に対する質疑】

執行部から提出された議案に対し、各議員が質疑を行いました。

※自らが所属する常任委員会の所管事項については、本会議での質疑は原則控えることとなっています。

議員名	通 告	担当部局
米田 勝彦	被災者住宅再建支援事業	総務部
藤井 隆弘	定住対策事業	企画産業部
	造林	企画産業部
	風しんワクチン接種費助成事業	健康福祉部
福谷 直美	被災者住宅再建支援事業	総務部
鳥飼 幹男	児童扶養手当	健康福祉部
	農林行政対策	企画産業部
佐々木 敬敏	農林行政対策	企画産業部
	農業用ハウス強靱化緊急対策事業	企画産業部
	鳥取花壇苗等イノベーション事業	企画産業部
山口 博敬	老人福祉一般	健康福祉部
福井 康夫	森林環境整備基金積立金	企画産業部
	定住対策事業	企画産業部
大月 悦子	児童扶養手当	健康福祉部
丸田 克孝	令和元年度倉吉市水道事業会計補正予算(第1号)	水道局
竺原 晶子	定住対策事業	企画産業部
鳥羽 昌明	定住対策事業	企画産業部
佐藤 博英	定住対策事業	企画産業部
	造林	企画産業部
	被災者住宅再建支援事業	総務部
	倉吉市営住宅の設置及び管理に関する条例及び倉吉市都市再生住宅条例の一部改正について	建設部
大津 昌克	定住対策事業	企画産業部
	プレミアム付商品券事業	総務部
	児童扶養手当	健康福祉部
	風しんワクチン接種費助成事業	健康福祉部

議案第44号 令和元年度倉吉市一般会計補正予算(第2号)

議案第45号 令和元年度水道事業会計補正予算(第1号)

議案第48号 倉吉市営住宅の設置及び管理に関する条例及び倉吉市都市再生住宅条例の一部改正について





## 主な質疑・答弁

### 被災者住宅再建支援事業

当初予算額	7823万円
補正額	204万円

―鳥取県が実施する屋根修繕促進支援事業補助金の経費について、市が2分の1を拠出する

#### Q事業の概要は

A平成28年の鳥取県中部地震で被災された生活保護世帯の住家の屋根などの修繕費を、本人の申請に基づき支援する県の事業で、1世帯の限度額は58万4千円、7世帯が対象。市はその2分の1を拠出する。再建が難しいなど、個別の案件には対応していく。

### 定住対策事業

当初予算額	1070万円
補正額	600万円

―東京23区に在住・通勤する者の本市への移住に関する経済的負担を軽減できるよう交付金を交付する

#### Q事業の対象者と交付内容は

A申請者を含む2人以上の世帯に、

1世帯当たり100万円を交付。単身世帯は60万円を交付。

#### Q要件は

A連続して5年以上東京23区に在住または、離島などの条件不利地域を除いた東京圏(東京、埼玉、千葉、神奈川)に在住し、東京23区へ通勤していた人。Uターン者も対象。就職に関する要件は県が移住支援金の対象としてマッチングサイトに掲載している求人であり、掲載日以降の就職であること、3親等以内の親族が経営を担う職務を務めている法人への就職でないこと。このほか、移住先に関する要件、企業に関する要件、対象の世帯に関する要件などがある。

#### Q事業の財源は

A県が450万円、市の一般財源が150万円。

### 風しんワクチン接種費助成事業

当初予算額	80万円
補正額	1195万円

―風しんの抗体保有率がほかの世代に比べて低い世代の男性に対し、予防接種法に基づいて定期接種を行う

Q本来は国の施策である。国へ財源措置を要望すべきでは

A国から抗体検査費用の2分の1、定期接種費用の10分の9が普通交付税措置される。しかし、今回の予防接種は、国が示した風しんに関する追加的対策であることから、国の確実な財源の保証は必要と考える。すでに中国市長会・全国市長会を通じて国へ要請している。

### 児童扶養手当

当初予算額	3億7829万円
補正額	140万円

―児童扶養手当を受給する未婚のひとり親に臨時給付を行う

#### Q事業の趣旨は

A消費税率が引き上げとなる中、子どもの貧困に対応するため、児童扶養手当の受給者のうち、未婚のひとり親に臨時の給付を行う。

Q給付に当たり、手続きなど具体的な内容は

A一世帯につき17,500円で、80世帯を見込んでいます。給付の時期は令和2年1月の1回のみ。申請手続きは令和元年8月から。詳細については市報くらよし7月号に掲載している。

### プレミアム付商品券事業

当初予算額	3億5900万円
補正額	△2億6325万円

―プレミアム付商品券事業の事務の一部(商品券販売・換金を実行委員会に委託し、そのほか事業の実施に伴って必要が見込まれる経費を計上する

#### Q消費税10%に伴うプレミアム付商品券の発行について、商品券の流通過程での利用者ルールや換金ルールに混乱を生じないか

A市としては、市報や市ホームページで内容についてお知らせする。また、商品券取扱実行委員会でも会報で申し込み方法や換金方法についてお知らせする。対象者の家族の利用については、社会通念上問題はないと考える。第三者への転売やネットオークションへの出品については、行わないよう呼びかけ、ルールの周知をしていく。本人確認までは考えていない。

※議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。  
※予算額、補正額の1万円未満を切り捨て。





# 【常任委員会・特別委員会】

## 【常任委員会とは?】

所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願などを審査します。行政の事務は多岐にわたり、専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するよう部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

### 教育福祉常任委員会

委員	佐藤 博英 委員長 丸田 克孝 副委員長 笠原 晶子 委員 鳥羽 昌明 委員 福井 康夫 委員
所管	健康福祉部、教育委員会



教育福祉常任委員会には1件の議案と1件の陳情が付託され、委員会審査が行われました。教育関係では、陳情第13号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書提出についてが、全員賛成により採択され、意見書が国の機関に提出されました。

また、倉吉市営関金農林漁業者等健康増進施設の2階から子どもが転落する事故があり、大けがをしたという報告がありました。委員から「事故の予見はできなかったのか」「所有者責任は」などの質問があり、執行部からは「注意事項をきちんと伝えておく必要はあった」との回答がありました。また、倉吉博物館のトイレについて、洋式化を求める意見が出たところ、「検討していきたい」と執行部から答弁がありました。

福祉関係では、児童扶養手当のうち、未婚ひとり親への臨時給付や、昭和37年から昭和54年生まれの男性への風疹ワクチン接種についての補正予算などについて、いずれも原案の通り可決されました。

### 総務建設常任委員会

委員	佐々木 敬敏 委員長 藤井 隆弘 副委員長 大津 昌克 委員 坂井 徹 委員 鳥飼 幹男 委員
所管	総務部、建設部、会計課、水道局、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会

総務建設常任委員会には、7件の議案と2件の請願、4件の陳情が付託され、委員会審査が行われました。議案7件は担当職員の説明を聞き、審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきと決定しました。請願第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書提出については採択。請願第3号 公契約条例の制定を求める決議については委員長採択により不採択になりました。

陳情第10号 核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書提出については賛成者なしにより不採択となりました。陳情第6号 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書提出について、陳情第8号 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書提出について、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書提出について、陳情第12号 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書提出についても同様の理由で陳情のまま据え置くことに決定しました。



### 【特別委員会とは?】

臨時的に特別な問題について審査または調査を必要とする場合に設置されます。

## 企画産業常任委員会

委員	福谷 直美 委員長
	米田 勝彦 副委員長
	伊藤 正三 委員
	大月 悦子 委員
	山口 博敬 委員
所管	企画産業部、農業委員会

企画産業常任委員会には3件の議案と請願1件、陳情3件が付託され、委員会審査が行われました。

議案第41号 平成30年度倉吉市一般会計補正予算(第11号)の専決処分は承認、議案第44号 令和元年度倉吉市一般会計補正予算(第2号)、議案第46号 倉吉市基金条例の一部改正については、審議の結果、いずれも可決すべきと決定しました。

請願第2号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書提出については、委員長長採決により不採択となりました。陳情第7号 ハンセン病患者



者家族に対する救済を求める意見書提出については、全員賛成により趣旨採択、陳情第9号 日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書提出については、異議なしにより採択となりました。陳情第11号 汚染土および放射性物質等の持ち込み拒否に関する条例の制定の陳情は、研究留保するべきと決定しました。

閉会中審査としていた、平成31年3月に付託された陳情第4号 奥山等の放置人工林を計画的に皆伐し天然林に戻すことを求める陳情は、賛成者なしにより不採択となりました。

## 中心市街地活性化調査特別委員会

委員	鳥飼 幹男 委員長、笠原 晶子 副委員長、
	伊藤 正三 委員、佐々木 敬敏 委員、
	藤井 隆弘 委員、丸田 克孝 委員、
	山口 博敬 委員

中心市街地活性化調査特別委員会は、これまでに5回の委員会を開催し、観光振興や商業活性化などについて議論をしてきました。

特に中心市街地の倉吉銀座通りに誕生する二つの中核施設(市役所第2庁舎・打吹回廊)の周辺整備については、関係団体との現地視察や意見交換会を重ねてきました。

建物、歩行空間のユニバーサルデザイン化の推進、滞在型観光への対策、周辺エリアを結ぶ回遊対策、歴史的資源を生かしたまちづくりなど、これまでの議論や課題をまとめ、執行部に報告し、施策のさらなる推進を求めるとともに、今後も官民が連携した中心市街地のにぎわい創出に向けて議論を深めていきたいと思ひます。



建設中の市役所第2庁舎



7月20日にオープンした打吹回廊





# 【議案等の議決結果】

—— 一般会計補正予算など8議案、請願3件、  
陳情9件などを審議——

## 審議の結果

賛否が分かれた案件は、その内訳を表記しています。

議案番号	件名	賛成	反対
報告 第 3号	平成30年度倉吉市繰越明許費繰越計算書について	報告受理	
報告 第 4号	平成30年度倉吉市水道事業会計予算繰越計算書について	報告受理	
議案 第 41号	専決処分について(平成30年度倉吉市一般会計補正予算(第11号))	承認	
議案 第 42号	専決処分について(倉吉市税条例等の一部改正について)	承認	
議案 第 43号	専決処分について(新元号の制定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について)	承認	
議案 第 44号	令和元年度倉吉市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	
議案 第 45号	令和元年度倉吉市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案 第 46号	倉吉市基金条例の一部改正について	原案可決	
議案 第 47号	工業標準化法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	
議案 第 48号	倉吉市営住宅の設置及び管理に関する条例及び倉吉市都市再生住宅条例の一部改正について	原案可決	
議会 発議 第 1号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	原案可決	
議会 発議 第 2号	国連各委員会の「沖縄県民は先住民族」との勧告の撤回を求める意見書提出について	12	2
議会 発議 第 3号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書提出について	原案可決	
議会 発議 第 4号	天皇陛下御即位を祝す賀詞	原案可決	
議会 発議 第 5号	ハンセン病元患者家族に対する救済を求める意見書提出について	原案可決	

## 賛否の内訳

議案番号	件名	議案に対する賛否														賛成	反対	議決結果	
		丸田克孝	藤井隆弘	大津昌克	大月悦子	福谷直美	福井康夫	伊藤正三	笠原晶子	坂井徹	鳥飼幹男	鳥羽昌明	山口博敬	米田勝彦	佐々木敬敏				佐藤博英
議会 発議 第 2号	国連各委員会の「沖縄県民は先住民族」との勧告の撤回を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○	○	○	×	12	2	原案可決

○賛成、 ×反対、 -議長のため表決に加わらず



令和元年6月第3回倉吉市議会定例会が、令和元年6月17日(月)から7月4日(木)まで開催され、一般会計補正予算、請願、陳情などが審議されました。

## 請願・陳情の結果

番号	件名	委員長報告 (付託委員会)	委員長報告に対する賛否														賛成	反対	議決結果	
			丸田克孝	藤井隆弘	大津昌克	大月悦子	福谷直美	福井康夫	伊藤正三	笠原晶子	坂井徹	鳥飼幹男	鳥羽昌明	山口博敬	米田勝彦	佐々木敬敏				佐藤博英
請願 第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	採択 (総務建設)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	14	0	採択
請願 第2号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書提出について	不採択 (企画産業)	×	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○	×	○	×	10	4	不採択
請願 第3号	公契約条例の制定を求める決議について	不採択 (総務建設)	○	×	×	○	○	×	○	○	-	○	○	○	×	○	×	9	5	不採択
陳情 第6号	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書提出について	陳情のまま 据え置く (総務建設)	○	○	○	○	○	×	×	×	-	○	○	×	○	○	×	9	5	陳情のまま 据え置く
陳情 第7号	ハンセン病元患者家族に対する救済を求める意見書提出について	趣旨採択 (企画産業)	×	○	×	○	○	×	○	×	-	×	×	○	○	×	×	6	8	採択
陳情 第8号	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書提出について	陳情のまま 据え置く (総務建設)	○	○	○	○	○	×	×	×	-	○	○	×	○	○	×	9	5	陳情のまま 据え置く
陳情 第9号	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書提出について	採択 (企画産業)	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○	○	○	×	12	2	採択
陳情 第10号	核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書提出について	不採択 (総務建設)	○	○	○	○	○	×	○	×	-	○	○	○	×	○	×	10	4	不採択
陳情 第11号	汚染土および放射性物質等の持ち込み拒否に関する条例の制定の陳情	研究留保 (企画産業)	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○	×	12	2	研究留保
陳情 第12号	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書提出について	陳情のまま 据え置く (総務建設)	○	○	○	○	○	×	×	×	-	○	○	×	○	○	×	9	5	陳情のまま 据え置く
陳情 第13号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書提出について	採択 (教育福祉)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	14	0	採択
【継続審査分】 平成31年3月付託 陳情 第4号	奥山等の放置人工林を計画的に皆伐し天然林に戻すことを求める陳情	不採択 (企画産業)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	14	0	不採択

○賛成、 ×反対、 -議長のため表決に加わらず





# 令和元年 9月 第4回 倉吉市議会定例会

【会 期】9月2日(月)～9月26日(木)

## 【会議日程】

月日	曜日	会議区分	時間	内 容	
9月2日	月	本会議	午前10時	議案の上程、提案理由の説明	
3日	火	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
4日	水	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
5日	木	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
6日	金			予 備 日	
7日	土			休 会	
8日	日			休 会	
9日	月	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑	
10日	火	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑 ～委員会付託	
11日	水			予 備 日	
12日	木	委員会		企画産業常任委員会(予定)	
13日	金	委員会		企画産業常任委員会(予定)	(録画のみ)
14日	土			休 会	
15日	日			休 会	
16日	月			休 会	
17日	火	委員会		教育福祉常任委員会(予定)	
18日	水	委員会		教育福祉常任委員会(予定)	
19日	木	委員会		総務建設常任委員会(予定)	(録画のみ)
20日	金	委員会		総務建設常任委員会(予定)	
21日	土			休 会	
22日	日			休 会	
23日	月			休 会	
24日	火			予 備 日	
25日	水			議事整理日	
26日	木	本会議	午前10時	委員長報告 ～付議議案の討論・採決	

…ケーブルテレビ放送あり …手話通訳あり  
※常任委員会は録画放送のみ。  
録画放送は開催日の午後7時から。

※倉吉市議会の情報は、ホームページでもご覧いただけます。

## 編集 後記

本誌は、全議員が一緒になって作っている。このうち5人が編集委員となり、事務局1人と共に紙面づくりをしている。議員の質問や、市長の答弁、委員会の質疑など、内容は文字数制限があり、あまり詳しく掲載できないが、ガラス張りの議会になるような紙面づくりに今後も取り組んでいきたい。(編集委員 米田 勝彦)

議会活動を正確に、わかりやすく紹介することは、なかなか難しい。市民から選ばれた議員が、それぞれの思いを持って市政のチェック・提案を行い、陳情を審議するのだが、その過程も何かしらの方法で表現できたらと思う。議会では、議員同士のやりとりだけでなく、議案・陳情に対する賛成・反対もある。そして、大切なのは、市民の皆さんの声や意見だと思う。(編集委員 佐藤 博英)



サウンドクリエイター  
ユウタ イタニ  
Yuta Itani さん

## 「みんなが同じように 生き生きと暮らせる社会の実現へ」

私には「脳性まひ」という障がいがあり、普段は車イスで生活しています。平成21年から市内で一人暮らしを自分の意思で始め、もう10年。平成27年に出場した、東京の音楽コンテスト「第12回ゴールドコンサート」で音楽評論家の湯川れい子さんから最優秀賞を頂いたことをきっかけに、現在では東京と倉吉を行き来し、フリーで音楽関係の仕事をしています。

### 作家にとっての長所と、今後の課題

倉吉市は騒音が比較的少なく、集中もしやすいため、音楽制作ではもちろん、創作活動全般においても、とても快適な環境だと思います。しかし、市内には音楽やアートを取り引きできるような一般企業、団体が大変少なく、営業先さえ分からない現状があります。モノ作りに優れた環境がありながら市内では収入が得られない。これは非常にもったいないことだと思います。機会があれば、数年後に控える美術館完成をより盛り上げるためにも、市内に住む作家の方々と企業や団体をマッチングするような何かシステム(双方を繋げるようなICTを活用した掲示板や交流会など)を是非とも共に構想していけたらなぁと考えています。

### バリアフリーな街＝みんなが暮らしやすい街

倉吉市内のバリアフリー化も10年前と比べると進んではいますが、まだまだ不十分で、まだに車イスで宿泊できるホテルも無いという状況です。ハード面でのバリアがあるということは、その施設を単に利用できないということだけでなく、障がいを持つ人間にとっては人生における機会損失にも直結するので、そのことも踏まえた上で、今一度、バリアフリー化の重要性について真剣に考えていただき、本当の意味での「皆が暮らしやすいまち」実現へ向けた政策を更に充実させてほしいです。そして、そのために私にも協力できることがあれば、ぜひ協力していきたいです！